

小児科

病棟 西病棟 5F/東病棟 5F、西病棟 6F (NICU)
 外来 新外来診療棟 3F 連絡先 022-717-7744 (外来)
 ホームページ <http://www.ped.med.tohoku.ac.jp/>



科長
 呉 繁夫 教授

主な対象疾患

- 小児血液・腫瘍性疾患、難治性ウイルス感染症、原発性免疫不全症 ●小児神経・筋疾患、発達障害 ●小児腎疾患 ●新生児疾患
- 小児内分泌疾患 ●先天性代謝異常症 ●小児循環器疾患

診療内容

小児科はこどもの全身を診る科であることを基本としています。七つの診療グループにより専門的な小児医療を提供しています。

- ①血液・腫瘍・免疫グループ：白血病と固形腫瘍などの小児がん、再生不良性貧血などの血液疾患、難治性ウイルス感染症および原発性免疫不全症を中心に診療にあたっています。
- ②神経・発達支援グループ：てんかん、変性疾患、脳炎・脳症、筋疾患、発達障害など幅広い神経疾患に対応した専門的な診療をしております。
- ③腎臓グループ：ネフローゼ症候群、急性・慢性糸球体腎炎、尿細管機能異常症、先天性腎尿路奇形、慢性腎不全、夜尿症、学校検尿精査など、腎臓に関わる疾患の診断・治療を幅広く行っています。
- ④新生児グループ：新生児科医が産科医と密接の連携のもとに産科管理を行うことによって出生後の赤ちゃんに対する適切な診療に繋がっています。出生体重が1000gに満たない赤ちゃんでも元気に退院できるようになりました。
- ⑤内分泌グループ：低身長などの成長障害、甲状腺疾患、副腎疾患、カルシウム・リン代謝異常、性腺疾患、水電解質異常、小児糖尿病などが対象疾患です。
- ⑥先天代謝異常グループ：アミノ酸代謝異常症、有機酸代謝異常症、脂肪酸酸化異常症、尿路回路異常症、リソゾーム病など先天代謝異常症全域を診療しています。また先天代謝異常症の全国の相談センター的な役割も担っています。
- ⑦循環器グループ：小児の心臓病(先天性心疾患、不整脈、川崎病、心筋症、心筋炎など)の診断・治療に当たっています。

診療体制

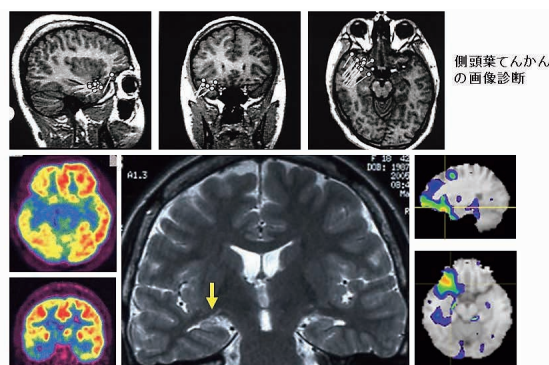
外来は、専門分野ごとに新患日、再来日を設け各分野の専門医を中心に診療を行っています。入院は、①血液・腫瘍・免疫、②神経・発達支援、③腎・内分泌・代謝、④新生児、⑤循環器の5グループ体制で診療に当たっております。2013年より東北地区の小児がん拠点病院に指定され、病院内に小児腫瘍センターを設置しています。ビデオ脳波モニタリング室、SPECT、PETなどの各種核医学検査、脳磁図などを駆使した神経疾患の診療、各種疾患に対する急性血液浄化療法、心疾患に対するカテーテル検査やカテーテル治療も行っています。

ご紹介いただく際の留意事項

- 専門分野ごとに新患日を設けております。病院HPなどをご参照ください。

得意分野

- ①血液・腫瘍・免疫グループ：小児固形腫瘍と脳腫瘍及び原発性免疫不全症の診断と治療。骨髄移植や臍帯血移植等の同種造血幹細胞移植。
- ②神経・発達支援グループ：てんかんの画像診断、筋疾患の病理解析、先天性神経疾患の遺伝子解析③腎臓グループ：腹膜透析の導入・管理、難治性ネフローゼ症候群の治療。
- ④新生児グループ：胎生期動物実験モデルを用いた脳室白質軟化症や慢性肺疾患の新しい予防法や治療法の開発。
- ⑤内分泌グループ：骨系統新患の診断と治療。
- ⑥先天代謝異常グループ：先天性代謝異常症の食事療法、酵素補充療法、薬物治療、造血幹細胞治療等。
- ⑦循環器グループ：心臓ができていく仕組みについての研究や先天性心疾患の発症機構の解明等。



側頭葉てんかんの画像診断